

令和2年度 第7回 北諏訪区地域協議会

次 第

日時：令和3年2月4日（木）

午後6時30分～

会場：北諏訪地区公民館 集会室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 題

【協議事項】

・令和3年度地域活動支援事業について

・自主的審議事項について

4 その他

5 閉 会

【 令和3年度地域活動支援事業 北諏訪区の採択方針等について（案） 】

項目	令和2年度	令和3年度
採択方針	右欄上段のとおり	
募集期間	・4/1(水)から5/8(金)まで	(事務局案) ・4/1(木)から5/7(金)まで
周知方法	■全市的な取り組み ・4/1 広報上越、市HPへの掲載 ・報道機関への情報提供 など	■全市的な取り組み ・令和2年度と同様
	■北諏訪区での取り組み ・2/1 たよりを全戸配布(事前相談受付) ・2/26(水)説明会開催 ・4/1 募集要項を全戸配布	■北諏訪区での取り組み ・2/25 たよりを全戸配布(説明会案内) ・3/11(木)18:30～説明会開催 ・3/25 募集要項を全戸配布
補助率等	・事業費の上限・下限：なし ・傾斜配分：なし ・補助率：10/10以内	
審査方法	・提案者説明及び質疑を実施 ・点数化しない ・ 右欄下段 の基本審査・共通審査基準に基づき、提案書及びヒアリング内容をもとに審査し、挙手により採否を決定(会長を除く出席委員の過半数で採択)	
その他	・委員が提案団体の代表者や役員であった場合の審査への関わりについて → <u>全ての審査に参加する</u>	

◆北諏訪区の採択方針（令和2年度）

北諏訪区 地域活動支援事業 採択方針

北諏訪区の活性化につながる事業及び住民の生活環境の向上に資する事業で、事業実施による効果が期待できる事業を優先的に採択する。

なお、優先的に採択する以外の事業については、制度の趣旨や全体のバランス、地域の要望等を考慮し採択する。

優先的に採択する事業の分野

- 地域振興に資する事業
(例) 地域の魅力づくり、各種団体との連携、住民交流の場の充実、住民交流(世代間交流)事業、住民啓発事業 等
- 生活環境の向上に資する事業
(例) 定住促進、住環境の充実につながる事業 等
- 安全安心、地域防災の向上に資する事業
(例) 自主防災組織の活動支援(ソフト)、消防団員の発掘・確保 等
- 教育文化・健康に資する事業
(例) 教育環境の充実、伝統・文化を継承する事業、スポーツ振興事業 等
- その他
上記に属さないが、北諏訪区の活性化につながる事業

◆基本審査・共通審査基準（全区共通）※令和2年度と変更なし

審査項目	審査の視点
① 公益性	・提案事業の成果が広く地域に還元されるものか。 ・補助金を充てて購入した物品や修繕した施設等が、長く地域で活用される見込みがあるか。 ・全市的な方向性と合致しているか。 ・提案者以外の市民や団体等に不利益を与えるものではないか。
② 必要性	・地域の課題解決や活力向上に効果が見込まれる取組であるか。 ・地域の実情や住民要望に対応したものか。 ・緊急性の高い提案事業であるか。 ・ほかの方法で代替できないものであるか。 ・補助金を充てる経費が提案事業を実施する上で不可欠なものであり、その規模も必要な限度となっているか。
③ 実現性	・目標(達成すべきこと)や事業内容が明確なものか。 ・関係者との合意形成や組織内部での実施態勢が整っているか。 ・資金調達の規模や時期に無理はないか。
④ 参加性	・提案事業の実施に当たり、提案者に限らず多くの住民等の参加が期待できるものか。
⑤ 発展性	・新しい発想が感じられる取組や、先進的な取組であるか。 ・事業の終了後における自立性や発展性は期待できるか。 ・提案団体に、信頼性や将来性はあるか。

自主的審議事項について（案）

令和2年12月10日（木）第6回北諏訪区地域協議会の協議から

【人口減少社会・持続できる活力ある地域づくりについて】

(主な意見)

- ・日本全体が人口減少社会であり、人口を増やすというのはなかなか難しい問題である。
- ・若者が地元に戻ってきてもらうには行政手腕で企業の誘致など雇用対策を講じるしかないのでは。
- ・まちおこしの具体的なテーマがあればよいと思う。
- ・テーマが大きすぎるので、北諏訪小学校の存続など具体的なテーマをいくつか出したらどうか。

【北諏訪区の魅力発見・発信について】

(主な意見)

- ・他の地域の人から「北諏訪区」についてあまり知られていないと実感する。
- ・くるみ家族園は知られているので、そこを活用して何かできないか。
- ・「地域の宝」について、北諏訪小学校の子どもたちはよく勉強して知っている。

○審議内容（案）

- ・北諏訪区について他の地域の方に知ってもらったり、子どもたちや住民が地域に愛着や誇りを持てるようにするために、区の魅力ある地域資源を発見し、発信する方法を検討する。